

エコ事業所の登録を更新するためには、本届出書の提出が必要です。

□部分のうち、該当するものを入力してください。

シートは(その1)～(その4)まであります。

※シートを削除・追加しないでください※

※受理日	
※処理日	

提出日を記載してください。

エコ事業所取組結果届出書

2025年4月30日

福岡県知事 へ
(環境保全課)

エコ事業所の宣言者について、住所、法人の名称・代表者を記載してください。

住所	福岡市博多区東公園7-7	
氏名	(名称)	株式会社エコトン商事
	(代表者)	代表取締役 環境 太郎

エコ事業所登録証の右上に記載されている番号やその事業所の名称を記載するとともに、その所在地についても記載してください。

エコ事業所登録制度実施要領5(1)の規定に基づき、次のとおり届け出ます。

エコ事業所登録番号 <small>※エコ事業所登録証の右上に記載されている番号を記載してください。</small>	第6433356号		
エコ事業所の名称	株式会社エコトン商事 福岡本店		
エコ事業所の所在地	福岡市博多区東公園7-7		
届出事項 <small>※報告する項目について、○を選択してください。</small>	電気使用量の削減に係る取組結果 <small>※(その2)に実績を記載してください。</small>	○	
	自動車燃料使用量の削減に係る取組結果 <small>※(その3)に実績を記載してください。</small>	○	
	その他(環境に配慮した活動)の取組結果	○	
エコ事業所表彰 <small>※表彰を希望しない場合は、○を選択してください。(空欄の場合は、希望ありとします。)</small>	エコ事業所表彰の対象となることを希望しない		
問い合わせ先を記載してください。 連絡先 <small>※本届出について確認が必要な内容が生じた場合や、エコ事業所表彰の対象者となった際に、問い合わせを行うことがありますので、その連絡先を記載してください。</small>	担当者の所属・氏名	CSR推進部 環境 三郎	
	電話番号	(092 - 643 - 3356)	
	FAX番号	(092 - 643 - 3849)	
E-mail	(chikyu@pref.fukuoka.lg.jp)		

報告する項目について、○を選択してください。

表彰を希望しない場合は、○を選択してください。(空欄の場合は、希望ありとします。)

問い合わせ先を記載してください。

No.	6433356	名称	株式会社エコトン商事 福岡本店
-----	---------	----	-----------------

1 電気使用量の削減に向け

買電のうち、100%再生可能エネルギーの再生電気を買電した場合は、記載してください。

買電の合計を記載してください。

(1) 電気使用量

	令和4年度	②令和5年度	③令和6年度	対前年度比(%) (③/②)×100
(a) 買電	10,000	8,000	8,000	84.2
(b) うちPPAやRE100等による100%再生可能エネルギー電気の買電	0	500	1,000	200.0
(c) 自家発電	2,000	2,200	2,500	113.6
(d) うち再生可能エネルギー発電設備による自家発電	2,000	2,000	2,400	120.0
		重油	重油	
(e) 一般1L灰系排出量 (=(a-b)×0.4/1000)	4.0	3.6	2.8	77.8
(f) 電圧変動率	100	100	130	130.0
従業員数	20	20	25	125.0
売上高	1,000	1,200	1,500	125.0
生産量				
その他 (営業日数)	240	240	200	83.3

太陽光発電等の自家発電で賄った電気使用量の合計値を記載してください。

自家発電のうち、太陽光等再生可能エネルギーで発電した電気使用量の合計を記載して

(a(買電)-b(再生電気が買電))×0.4÷1000
※小数第2位を四捨五入

自家発電のうち、再生可能エネルギー以外で自家発電を行った場合のみ記載してください。

小数第2位を四捨五入。

直近3か年で大きな変化があった場合のみ記載してください。

※事業項目に「その他」を記載する場合は、「(f)電圧変動率の削減に検討を要する値」にその内容を記載してください。

(2) 電気使用量の削減に向けて取り組んだ内容 ※既存資料の添付でも可。

<p><節電や運用改善等、ソフト面での取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ・ウォームビズの推奨 ・室内温度について夏季は28℃、冬季は20℃とする温度目安の設定 ・待機電力カットや昼休みの消灯等こまめな節電 ・週1回のノー残業デーの実施、業務時間外の部分消灯 ・アンケートやミーティングにより、社員から改善提案を募集し、実施 ・年1回環境学習会を開催。節電・売電の状況をグラフ化し、成果を周知するなど見える化の実施。 ・エコアクション21(環境マネジメントシステム)による計画的な実施
<p><設備投資等、ハード面での取組> ※更新台数等についても可能な範囲で記載願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務所の照明機器をLED照明に更新(〇〇基→〇〇基) ・エアコンを省エネ型に更新(〇〇台→〇〇台) ・太陽光発電設備や蓄電池の導入 ・二重窓など断熱改修 ・省エネ型の電化製品への更新
<p><その他> ※電気使用量が増減要因が不明な場合や、コロナによる事業縮減といった上記以外で電気使用量に影響した要因がある場合は、その旨記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務やリモートワークの増加 ・事務所について、2フロアから1フロアへ集約 ・工場の電動化

No.	6433356	名称	株式会社エコトン商事 福岡本店
-----	---------	----	-----------------

2 自動車燃料使用量の削減

軽油使用量の合計値に記載してください。
(重機を含む)

ガソリン使用量の合計値に記載
してください。

(1) 自動車燃料使用量

	単位	①令和4年度	②令和5年度	③令和6年度	対前年度比(%) (③/②)×100
(a) ガソリン使用量	L	7,000	5,500	3,000	54.5
(b) 軽油使用量	L	500	500	300	60.0
(c) 二酸化炭素排出量 ($(a \times 2.3 + b \times 2.6) \div 1000$)	t	17.4	14.0	7.7	55.1
(d) $(a \times 2.3 + b \times 2.6) \div 1000$ ※小数第2位を四捨五入		7	8	7	87.5
(自動車使用延月数)	月	(84)	(84)	(84)	100.0
【参考】合計走行距離	km	1,000	1,500	1,300	86.7
ガソリン・ディーゼル 自動車使用台数	台	5	4	2	50.0
(自動車使用延月数)	月	(60)	(45)		53.3
ハイブリッド自動車使用台数	台	2	2		100.0
(自動車使用延月数)	月	(24)	(24)	(24)	100.0
電気自動車・プラグインハイブリッド 自動車使用台数	台	0	2	3	150.0
(自動車使用延月数)	月	(0)	(15)	(36)	240.0
燃料電池自動車使用台数	台				
(自動車使用延月数)	月				
その他の自動車使用台数 (種類:天然ガス自動車)	台				
(自動車使用延月数)	月				

その他の場合、カッコ内に自動車の種類を記載してください。

使用した自動車の走行距離の合計値を記載してください。

小数第2位を四捨五入。

自動車の種類ごとに自動車使用台数を記載。
自動車使用延月数には、使用した月の延べ数を記載してください。
(例)1台は12か月使用、もう1台は10か月使用の場合は、延べ22か月使用。

() に向けて取り組んだ内容 ※既存資料の添付でも可。

<エコドライブ等、ソフト面での取組>

- ・あらかじめ作業効率の良いルートの確認
- ・急発進や急加速の防止徹底等、エコドライブ講習会の実施
- ・月に1度のタイヤの空気圧の点検
- ・現場への乗り合いによる移動
- ・エコモードによる重機の作業

<設備投資等、ハード面での取組> ※更新台数等についても可能な範囲で記載願います。

- ・ガソリン自動車2台を電気自動車へ更新
- ・低燃費型の重機へ1台更新
- ・ルートの効率化を図る車両運行管理システムの導入

<その他> ※ガソリン・軽油使用量が増減要因が不明な場合や、コロナによる事業縮減といった上記以外ガソリン・軽油使用量に影響した要因がある場合は、その旨記載してください。

- ・WEB会議方式での打ち合わせの増加
- ・工事件数の減少

No.	6433356	名称	株式会社エコトン商事 福岡本店
-----	---------	----	-----------------

3 その他の地球温暖化対策に関する環境配慮活動

実施した環境配慮活動の概要 ※実施した環境配慮活動について、その概要を記載してください。	
<p>廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議資料の削減 パワーポイントを利用し、配布資料を極力減らした。 ・ 個人毎のコピー用紙使用枚数のチェック 個人毎にコピー用紙の使用枚数をチェックし、使用枚数の対前年度比が最も少ない ・ 分別回収、リサイクルの削減 新聞紙、雑誌など古紙類を分別するとともに、ビン、缶、ペットボトルなどの資源化量 ・ 地域活動への参加 廃品回収、河川清掃に全従業員が参加した。 ・ 省エネ・省資源の効果の見える化 取組結果を職員へ見える化するとともに、研修会を実施 	
効果	廃棄物発生量が対前年度比10%削減し、特に、紙の使用量は対前年度比15%削減した。
創意工夫	コピー用紙の使用枚数を個人毎にチェックできるようにし、無駄がないか、従業員が常に意識するようにした。 また、部署毎に表彰することにより、やる気を起こさせた。
従業員への啓発	資源化量、廃棄物量を全職員に周知し、廃棄物の発生抑制を働きかけた。 また、コピー用紙の使用量が対前年度比10%以上増えた部署に対しては、対策方法を検討させ、全従業員に発表させた。
継続性	エコアクション21を取得し、10年間活動を続けている。 当該活動は過去5年間継続し実施しており、今後は、昼食の弁当などで出た生ごみを有効利用したいと考えている。
地域とのかかわり	地域での廃品回収、河川清掃に全従業員に参加した。
PR	廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進に加え、花壇を設置し、美化に努めている。